

愛産研 ニュース

愛産研ニュース

平成19年11月7日発行

No.68

編集・発行

愛知県産業技術研究所 企画連携部

〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割

TEL 0566(24)1841・FAX 0566(22)8033

URL <http://www.aichi-inst.jp/>

E-mail info@aichi-inst.jp

11月号
2007

今月の内容 ●トピックス

●技術紹介

- ・3Dデジタイザによる大型物体の計測
- ・ポリ乳酸／ホタテ貝殻／カオリンからなるバイオマス成形体の開発
- ・鉄筋定着部の開発と技術支援
- ・PCカメラとパソコンを用いた簡易画像処理

●お知らせ

《トピックス》

● 籐の切れ端をインテリア用品に再生する繊維化技術、着色技術を開発しました

当研究所三河繊維技術センターでは、籐端材を繊維化して糸やシートに再生する技術と、籐端材を着色して新たな籐製品の一部として有効利用する技術を開発しました。籐の優れた特徴である調湿性を維持しつつ、糸や不織布に加工することに成功するとともに、従来の技術の欠点であった色落ちの問題を解決しました。この成果は10月12日（金）から13日（土）に蒲郡商工会議所で開催された「テックスビジョン2007ミカワ」において展示を行い、新聞でも紹介されました。



● 「ルビー色のみりと酢」の商品化を達成しました

当研究所食品工業技術センターが開発した、鮮やかなルビー色を特徴とするみりと純米酢の製造法が、地域企業に技術移転され、新商品として発売されることとなりました。今回、発売されるみりと酢は、鮮やかな色調に加え、赤ワインと同程度のポリフェノールを含有することから、年末年始の贈答品や健康志向に合致した飲料、調味料としての需要が期待されます。この成果は11月28日（水）から30日（金）に名古屋市中企業振興会館で開催される「産学交流テクノフロンティア2007」において展示を行います。



商品化された「みりと酢」

● 「東三河地域産学官連携フォーラム2007」に出展しました

当研究所は10月25日（木）、26日（金）に豊橋サイエンスコアにて開催された「東三河地域産学官連携フォーラム2007」で「超高分子量ポリエチレン繊維の染色」と「切り屑吸引工具」の展示を行いました。当日は多くの来場者があり、当研究所のブースも関心を集めていました。



● 当研究所の職員が「平成19年度日本醤油技術賞」を受賞しました

醤油研究の進展に功績を上げた者を表彰する（財）日本醤油技術センターの表彰式が10月25日（木）に新潟県長岡市で開催され、当研究所食品工業技術センター北本則行主任研究員、及び安田庄子主任が「醤油醸造における麹菌多糖類分解酵素の機能解析」に関する研究成果により、平成19年度日本醤油技術賞（研究・開発の部）を受賞しました。

